

# ありが隊新聞

第130号  
令和6年2月22日発行  
編集 望月ひとみ  
天龍村地域おこし協力隊



今年度卒業（見込）






篠田 大石 松川 前川

まだまだ現役





加藤 望月 小幡（休職中）

## 二月の活動内容

二月に入り、寒い日が続きませんが、温暖な日もあって春の気配を感じます。

自身の活動としましては、天龍村の歴史書籍の原稿が完成し、印刷会社に原稿を提出したところです。今年三月中には書籍が出来上がる予定なので、是非読んでいただければと思います。

また、二月八日には、原地区のミニデイに参加して、天龍村の歴史について話をさせて頂きました。

私は今年の三月で、協力隊の任期を終えますが、三年間の主要な活動として、天龍村の歴史をまとめて、主に文章を通して村の方々に伝える活動を行って来ました。

### 「ブランド」とは何か

世の中には、たくさんブランドがあります。「ブランド」と口に出すことはあっても、私はその意味を把握しているとは言いがたい状況なので、試みに辞書で「ブランド」を引いてみることにします。

『日本国語大辞典』の「ブランド」の項には「商標、銘柄。」と記載があります。これだけだと解ったような解らないような

気がするので、『ランダムハウス英和辞典』をさらに参考に見てみます。

『ランダムハウス英和辞典』によると「brand」の語源は「burn」で日本語では「燃焼を意味する言葉」と記載があります。中世では自分が所有する家畜に所有権を示すために焼印を押していたそうです。

つまり、焼印から燃焼を連想させると同時に、焼印から印（商標）を連想させます。

そのため「burn」（燃焼）は「brand」（ブランド）の語源になっていると私は解釈します。

平たく言えば、ブランドとは、他と区別するためのものと考えればよいでしょう。そうであれば、あらゆる場所にブランドはあふれています。

というよりも、万物にブランドが内在しているとも言えます。

### ブランディング

ブランディングとは、内在しているブランドを確立することです。そしてブランドとは、他と区別できる印のことであると、先ほど確認しました。

ブランド品が一級品とほと

んど同じ意味で使用されるのは、ブランド品とは、ブランドが確立されている商品の事だからです。つまりそれが一級品だから、ブランド品になるのではなく、ブランド品だから一級品として認識されます。

なぜなら、ブランド品とは他と比較して優れた価値があるという点も重要ですが、それよりも、その品にしかない、優れた価値があるから一級品として認識されます。

### 歴史とブランディング

例えば、「天龍村をブランディングしよう！」とスローガンを掲げたところです。このスローガンの意味するところは、「天龍村の内在しているブランドを確立しよう」ということになりません。もつと言え、天龍村にしかない価値を発掘して発信をすることです。

しかし、天龍村にしかない価値、天龍村そのものの価値を発掘するのはとても難しいというえに、言語化するのには不可能と云ってよいでしょう。

試しに、自分にしかない価値、自分そのものの価値を考えてみてください。かなり難しいことに気がつくと思います。

そこでヒントになるのが自分の歴史です。自分の過去におけ

る成功の経験も失敗の経験もすべて自分の歴史として受け入れたとき、その人は自分自身のブランディング、つまりブランドを確立したといえます。なぜなら、自分自身の歴史は自分自身にしかないからです。他人の歴史と同じ人は絶対にいません。自分の歴史は自分自身にしかない価値でもあります。

村の歴史も同じで、村の歴史は他の市町村とまったく同じことはありません。

実のところ、「村の歴史を受け入れたとき、村のブランドも確立するのではないか」との想いで三年間協力隊として天龍村の歴史に関する活動を続けてきました。

その活動が成功したのか、失敗したのかはわかりませんが、成功しても、失敗したとしても、天龍村で生きた自分の歴史として受け止めていく以外にありません。

その覚悟がこれからも天龍村に住み続けていく、ひとりの村民として必要なかもしれません。

そして協力隊を退任した後、天龍村の歴史に関わり続けたいと思います。

記 大石 航平

## モチコの

# 天龍やんやんや

文 望月ひとみ

立春が過ぎ、冬から春へ。みなさんいかがお過ごしですか。天龍村に住まう鳥たちも日に日ににぎやかにさえずるように。ウグイスの美声が今年も楽しみな私です。

### ●ていざなす栽培

一月に蒔いた台木の種は本葉も出始めすくすく大きくなっています。二月上旬には穂木の種を蒔き、芽が出始めました。左の写真のように、種を脱ぐところがとてもかわいいです。三月には穂木と台木をつなげる接ぎ木の作業が始まります。それまでもみながら燻炭づくりや竹林整備をしながら竹の支柱づくり等をしていきます。なるべく村にある資源を使って農業をすることで、景観整備や肥料・資材コスト減につなげたいと考えています。



●おしどり観察

個人的な話ですが、天龍村に来てからというもの、鳥と虫がとても身近な存在になりました。特に最近はおしどりを羽衣崎橋付近で観察するのが楽しみのひとつ。

この写真では全然わからないですが、本当に美しい容姿です。なんとなくメスよりオスが多いように感じるのは気のせいでしょうか。ぜひ平岡ダムから湖岸道路を歩いて、静かに観察してみてください。おしどり以外にもいろいろなカモがいます。

### ●天龍村てぬぐい第二弾 企画中

第二弾はブッポウソウをテーマに制作します。一月下旬にデザイナーさんにご来村いただき、巣箱の位置を見たり例年の様子を関係者に伺ったりし、ブッポウソウ飛来の情景を想像していただきました。関係者の皆様ありがとうございました。完成をお楽しみに。



小学校の校舎巣箱への飛来についても伺う今年も楽しみです



### ～お知らせ～

今年度のありが隊・集落支援員の活動報告会は**3月16日（土）向方地区**にて開催です。例年とは一味違うかたちで、気軽に足を運んでいただけるような内容で開催できたらと企画しました。詳しくは別紙回覧にて。ぜひご来場ください！

一月からの活動

(文・篠田 大樹)

一月からは自宅横の荒地を借りて開墾して畑に変える作業をしています。ツルが張り巡らされ、雑木やススキ、笹が生えていますが、役場の職員、協力隊員、協力隊員にお手伝いいただいて表面はスッキリきれいになりました。そこから斜面に段を作りながら根を取り除く作業をしています。地中にはツルの太い根っこが張り巡らされ取り除くのは一苦労ですが中学時代の同級生も手伝いに来てくれました。斜面の中にきれいな水平の土地が作れた時の達成感はそのすごいものがあります。春には野菜が植えられるように今後も進めていきます。



開墾前

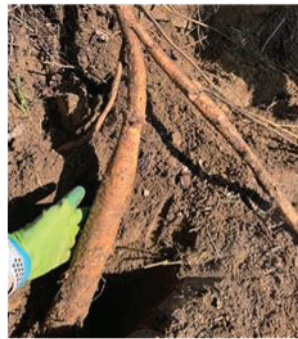


開墾後



水平と段

二〇一九年十一月に協力隊になりましたがコロナの影響で任期延期というのもあり、ついに来月限りで退任となります。お陰様で自分一人くらいは生きていくくらいの収入を得られるようになりました。これから残り短い任期をしつかり務めていきたいと思えます。



出てくるツルの根

まつかわの活動

「二月中旬〜二月中旬」

松川友哉

●和知野川キャンプ場  
一月の状況…週末の稼働率が思うように伸びず、十七%ほどでした。年平均の週末稼働率五十%なので、落差は激しいですが、リピート率は五十%を超えているので一安心しています。

●薪割りイベント  
ご来場ありがとうございました。子どもたちが秘密基地を作って遊んでくれてとても嬉しかったです。自由に子どもたちが遊べるイベントも面白そうだと感じました。

●釣り  
今年の溪流釣りが二月十七日に解禁されました。去年の秋以降、釣りへの思いが高まりました。今年は一シーズン通してコンスタントに村内の川へ出掛けていきたいとおもいます。いつかキャンプ場での釣りイベントなど企画を夢見て楽しみにします。

●和知野川キャンプ場 営業中  
売店…毎週土曜日十時〜十七時  
ワチカフェ…毎週土曜日十三時〜十七時  
モーニング…毎週日曜日七時〜十時  
●松川携帯…090454913223



売店の壁シロアリ被害工事



薪割りありがとうございました



雪がイイねとお客様

日たっしん

文・前川 未来

気づけば二月ももう終わり。一月半ばに雪が降って、ようやく本番の冬がきたように思います。そうなると思わぬのが道の凍結で、やまびこテリにとってはいつも増して気をつけなければなりません。そうかと思えば、二月中旬は日中がとても暖かく春のような陽気になって、季節の進み具合になかなか対応できず参ってしまいますね。

梅の花も咲き、陽射しのあたたかさを感じるようになり、花粉の飛散も多少感じるようになり、春ももうすぐそこだなと思う今日この頃です。

『天龍村食器のガレージセール』が名古屋・東京に！

昨年度末から皆さんのお家で回収させていただいた食器たち。もつと多くの人の手に渡るように、そして天龍村をもつと多くの人に知ってもらうために、名古屋市と東京都それぞれ開催されたフリーマーケットに『天龍村ガレージセール』として出店してきました。

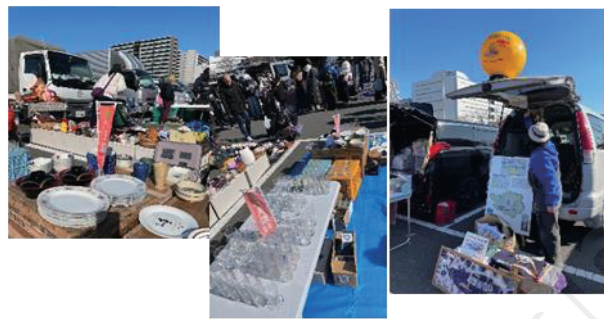
●一月二十七日(土) 名古屋緑区【よくばりマルシェ】

小規模なイベントではありませんでしたが、とてもアットホームな雰囲気、開催地の地元に住む方が多く来場されていました。天龍村を初めて知ったという方も多く用意していたパネルやパンフレットを見ながらお話をし、村にも食器にも興味を持っていただけてとてもよかったです。

●二月三日(土) 大井競馬場【Tokyo City Flea Market】

このフリーマーケットは過去に何度も開催されているものらしく、日本最大規模だということで、出店数も来場者数もとても多い野外イベントでした。お店を開く準備をしたとたん人が集まってきたけれど、食器を並べざる前に購入してくださる方もいて、お客さんの勢いに終始圧倒されてしまいました。有名なイベントであること、東京での開催ということもあり、地元の方のみならず旅行で来ている方、海外(主にアジア圏)の方など本当に大勢の方が来場し、たくさんの方々が新たな持ち主のもとへと渡りました。

今回の二か所のフリマ参加は、食器をたくさん持っていっただけでなくて、より多くの人に天龍村を知ってもらえる機会にもなりました。ここで買った食器を使う時にふと「天龍村」という名前だけでも思い出してくれたらいいなと思っています。



◇片付け大作戦!!ガレージセール企画

1月末に名古屋で行われたマルシェと、2月初めに東京にて行われたフリーマーケットへ村で以前回収した食器等を持って出店して参りました。遠出だったので沢山は持ってはいけなかったですが、東京のフリーマーケットは出店者も多く、お客さんも慣れた方が多くて食器を並べるそばから手にとつてくださる方が多くて、持参した食器の8割ほど減らして帰って参りました。(コンテナ9箱→2箱弱に…)同時に天龍村のPRもしつつ、パンフレット配布やお話して村を知って頂きました。このPR方法は話しかけやすく、興味を持って下さる方が多いなあと感じたので、またチャレンジしたいと思えます。

加藤まゆみ

◇郷土食

3月3日には5回目の料理教室が行われます。今回は栃がゆ・こんにやくの胡桃和え・さくら寿司・大汁と盛りだくさんです。和気あいあいとした会ですので初めての方もぜひぜひご参加ください。

1月末から2月初めのとても寒いこの時期に「天龍みそ」の仕込みのお手伝いをさせて頂きました。今回で3年目。やっと要領が分かってきて自分の味噌も仕込ませて頂きました。去年のお味噌との違いをまた楽しみに待ちたいと思います。

おそうじ道 ⑩ 3月のお掃除

3月の掃除は衣替えや書類整理などして、必要なものや不必要なものが一気にわかり、掃除がしやすいだけでなく、暖かくなる季節だからこそ、掃除がはかどるといったメリットがあります。が、それだけではなく！

春の後に来る：梅雨の季節の嫌なダニやカビ対策にも非常に効果的なんです！冬に散々お世話になったヒーターや加湿器、暖房機器など、3、4月になると出番が減ってきてそのまま放置…なんてこともあるのではないのでしょうか。ですがそのまま放置してしまうとそれらの器具にたまったホコリが梅雨の湿気にさらされたときにカビの原因になってしまいます。暑くなってきてクーラーをつけたらカビ臭いにおいがする…なんていうことがあります。その原因はホコリなんです。梅雨前に綺麗にするのは大事だなと思います。3〜4月に掃除してしまえばついでにカビも防いでいいですよ！

